

美らネット 24 先物オプション取引ルール変更について

安藤証券株式会社

先物オプション取引ルールを一部変更いたします。

「美らネット先物オプション取引」ルール新旧対照表

下線部を追加・変更又は削除します。

新	旧
<p>1、取扱商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日経 225 先物取引（日経 225mini を含む。以下、日経 2 2 5 先物取引を日経ラージといい、日経 2 2 5 mini を日経ミニという。）、日経 225 オプション取引、及び、日経平均 VI 先物取引の<u>全限月</u> <p>ただし、日経平均 VI 先物取引は、新規買建てのみの取扱い、新規売建ては取り扱いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>オプション取引の新規設定・追加設定された限月・権利行使価格については、取引所が定める新規取扱い可能日の翌営業日以降、当社にて取扱い可能といたします。</u> <p>3 証拠金、及び、発注・建玉上限枚数</p> <p>必要証拠金</p> <p>A. 新規建て必要証拠金</p> <p>1 枚当たりの新規建て必要証拠金は、（株）大阪証券取引所が採用する「SPAN」で計算された SPAN 証拠金を基に、当社の定める計算方法により決定します。</p> <p>SPAN 証拠金のうち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライス・スキャンレンジは毎週、<u>日本証券クリアリング機構</u>が発表します。 ・オプション取引の新規売建てにおける 1 枚当たりの必要証拠金は、<u>日本証券クリアリング機構</u>が毎日更新するリスクパラメータ・ファイルに基づき、日々変動いたします。 <p>したがって、新規建玉を行う場合は、以下の必要証拠金または必要額をあらかじめ差入れていただきます。なお、1 枚当たり必要証拠金の更新は既建玉にも影響しますので、ご注意ください。</p> <p>注文に係る発注・建玉上限枚数規制</p> <p>当社の先物・オプション取引については、1 注文当りの発注上限枚数、及び、建玉上限枚数を下記のとおり定めています。</p> <p>ただし、建玉上限枚数については、当社の任意でお客様ごと、または、取扱商品毎に異なる上限枚数を定めることができますものとします。</p>	<p>1、取扱商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日経 225 先物取引（日経 225mini を含む。以下、日経 2 2 5 先物取引を日経ラージといい、日経 2 2 5 mini を日経ミニという。）、日経 225 オプション取引、及び、日経平均 VI 先物取引で、 <u><日経ラージ></u> <u>3、6、9、12 月（四半期月）のうち、直近 2 限月</u> <u><日経ミニ、日経 225 オプション取引、日経平均 V.I 先物取引></u> <u>3、6、9、12 月（四半期月）のうち、直近 2 限月</u> <u>四半期月以外の限月のうち直近 3 限月（マンスリー限月）</u> <u>の合計 5 限月</u> <p>ただし、日経平均 VI 先物取引は、新規買建てのみの取扱い、新規売建ては取り扱いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>「J-Trader」の取引画面上は他の限月も表示可能ですが、1 枚当たり必要証拠金を"999,999,999 円"に設定し、実質的に非取扱い商品として設定しています。</u> <p>3 証拠金、及び、発注・建玉上限枚数</p> <p>必要証拠金</p> <p>A. 新規建て必要証拠金</p> <p>1 枚当たりの新規建て必要証拠金は、（株）大阪証券取引所が採用する「SPAN」で計算された SPAN 証拠金を基に、当社の定める計算方法により決定します。</p> <p>SPAN 証拠金のうち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライス・スキャンレンジは毎週、<u>大阪証券取引所</u>が発表します。 ・オプション取引の新規売建てにおける 1 枚当たりの必要証拠金は、<u>大阪証券取引所</u>が毎日更新するリスクパラメータ・ファイルに基づき、日々変動いたします。 <p>したがって、新規建玉を行う場合は、以下の必要証拠金または必要額をあらかじめ差入れていただきます。なお、1 枚当たり必要証拠金の更新は既建玉にも影響しますので、ご注意ください。</p> <p>注文に係る発注・建玉上限枚数規制</p> <p>当社の先物・オプション取引については、1 注文当りの発注上限枚数、及び、建玉上限枚数を下記のとおり定めています。</p> <p>ただし、建玉上限枚数については、当社の任意でお客様ごと、または、取扱商品毎に異なる上限枚数を定めることができますものとします。</p>

		1注文当りの 発注上限枚数	建玉上限枚数
先物	日経ラージ	200 枚	200 枚
	日経ミニ	2,000 枚	2,000 枚
オプション新規売建		30 枚	<u>プットオプション 30 枚</u> <u>コールオプション 30 枚</u> (合計 60 枚)
オプション新規買建		2,000 枚	<u>プットオプション 2,000 枚</u> <u>コールオプション 2,000 枚</u>
日経平均V I 先物・新規売建		現在取扱停止中です。	現在取扱停止中です。
日経平均V I 先物・新規買建		20 枚	20 枚

5 注文の種類

美らネット 24 では、大阪証券取引所のデリバティブ売買システム（「J-GATE」）で標準的に装備されている注文、及び、その他の注文のうち、次のものを利用することが出来ます。当社の任意で一部の注文の種類について取扱いを中止する場合がありますので、ご注意ください。

注文の種類一覧

1.指値注文	(省略)
2.FAK 条件付き指値注文	(省略)
3.FOK 条件付き指値注文	(省略)
4.GTD 条件付き指値注文	(省略)
5.GTC 条件付き指値注文	(省略)
6.FAK 条件付き成行注文	(省略)
7.FOK 条件付き成行注文	(省略)
8.最良指値注文(Market To Limit)	(省略)
9.ストップ注文 (逆指値注文)	(省略)
10.ストップリミット注文 (指値付き逆指値注文)	(省略)
11.OCO 注文	(省略) (注 1) 大証 J-GATE で標準装備されている注文種類ではありません。 (注 2) <u>J-Trader における OCO 注文の「指値」「逆指値」はトリガー価格のことを指します。トリガー価格に達した場合、成行き注文が市場に発注されます。</u> (特注) 注文済みの OCO 注文を J-Trader のリフレクター (気配板) からマウス操作で指値訂正を行わないでください。市場における出来値の状況やお客様の PC の環境によっては、誤った枚数への変更などの誤作動の可能性があります。

		1注文当りの 発注上限枚数	建玉上限枚数
先物	日経ラージ	200 枚	200 枚
	日経ミニ	2,000 枚	2,000 枚
オプション新規売建		50 枚	50 枚
オプション新規買建		2,000 枚	2,000 枚
日経平均V I 先物・新規売建		現在取扱停止中です。	現在取扱停止中です。
日経平均V I 先物・新規買建		20 枚	20 枚

5 注文の種類

美らネット 24 では、大阪証券取引所のデリバティブ売買システム（「J-GATE」）で標準的に装備されている注文、及び、その他の注文のうち、次のものを利用することが出来ます。但し、事情により一部の取扱いを中断する場合がございます。当社の任意で一部の注文の種類について取扱いを中止する場合がありますので、ご注意ください。

注文の種類一覧

1.指値注文	(省略)
2.FAK 条件付き指値注文	(省略)
3.FOK 条件付き指値注文	(省略)
4.GTD 条件付き指値注文	(省略)
5.GTC 条件付き指値注文	(省略)
6.FAK 条件付き成行注文	(省略)
7.FOK 条件付き成行注文	(省略)
8.最良指値注文(Market To Limit)	(省略)
9.ストップ注文 (逆指値注文)	(省略)
10.ストップリミット注文 (指値付き逆指値注文)	(省略)
11.OCO 注文	(省略) 大証 J-GATE で標準装備されている注文種類ではありません。 (特注) 注文済みの OCO 注文を J-Trader のリフレクター (気配板) からマウス操作で指値訂正を行わないでください。お客様の PC の環境によっては、誤った枚数への変更などの誤作動の可能性があります。

1 1 注文の失効

以下の場合、有効期限内の注文でも失効となります。失効となった注文にかかる余力の拘束は、取引所から失効の連絡を受けた後に回復し、他の注文の余力として使用することが出来ません。

A.市場での注文失効

- a.板寄せ方式で約定しなかった成行注文すべて
- b.クロージング・オークション（日中取引、夜間取引終了5分前）で算出した価格が、直前に約定値段から所定の値幅（約定成立値幅）を超える場合
- c.直前の約定値段から所定の値幅を超える約定を発生させる注文が発注された場合に取引の一時中断を行う制度（即時約定可能値幅制度）において、当該注文にFAK条件の執行数量条件が付いている場合
- d.成行注文における未執行数量
- e.FAS条件が付された最良指値注文について、最良の買い呼値又は売り呼値も無い場合
- f.FAK条件が付された注文について、一部約定後に未執行数量が残る場合
- g.FOK条件が付された注文について、全数量が直ちに約定しない場合
- h.GTD条件が付された注文について、有効期限切れの注文
- i.終値・清算値段で計算し値幅外になった注文
- j.SQ時の限月切り替えによる失効
- k.正常に発注済みとなったが市場側の事情により取り消された注文
- l.その他市場の条件に合わなくなった注文

1 3 サーキットブレーカー制度

（省略）

サーキット・ブレーカー制度に関する事項

（省略）

1 1 注文の失効

以下の場合、有効期限内の注文でも失効となります。失効となった注文にかかる余力の拘束は、取引所から失効の連絡を受けた後に回復し、他の注文の余力として使用することが出来ません。

A.市場での注文失効

- a.板寄せ方式で約定しなかった成行注文すべて
- b.クロージング・オークション（日中取引、夜間取引終了5分前）で算出した価格が、直前に約定値段から所定の値幅（約定成立値幅）を超える場合
- c.直前の約定値段から所定の値幅を超える約定を発生させる注文が発注された場合に取引の一時中断を行う制度（即時約定可能値幅制度）において、当該注文にFAK条件の執行数量条件が付いている場合
- d.成行注文における未執行数量
- e.FAS条件が付された最良指値注文について、最良の買い呼値又は売り呼値も無い場合
- f.FAK条件が付された注文について、一部約定後に未執行数量が残る場合
- g.FOK条件が付された注文について、全数量が直ちに約定しない場合
- h.GTD条件が付された注文について、有効期限切れの注文
- i.終値・清算値段で計算し値幅外になった注文
- j.SQ時の限月切り替えによる失効
- k.その他市場の条件に合わなくなった注文

1 3 サーキットブレーカー制度

（省略）

サーキット・ブレーカー制度に関する事項

（省略）

■ 日経ラージ、日経ミニ、日経225オプション取引

平成24年3月1日に終了する取引日から平成24年5月31日に終了する取引日までの間に適用する呼値の制限値幅は、原則、それぞれ次のとおりです。

	通常時制限値幅	第一次拡大時制限値幅	第二次拡大時制限値幅
日経ラージ・日経ミニ	720円	1,080円	1,440円
日経225オプション取引	1,170円	1,530円	1,890円

■ 日経平均V I先物取引

	通常時制限値幅	拡大時制限値幅
日経平均V I先物取引	10ポイント	拡大回数を限定せず、通常、5ポイント刻みで順次拡大

※ 日経平均V I先物取引における呼値の制限値幅は、基準値段を中心に上下10ポイントの範囲内とします。サーキット・ブレーカー発動により行う呼値の制限値幅の上限又は下限の拡大については、拡大回数を限定せず、通常、5ポイント刻みで順次拡大します。

付則

この改正は、平成25年7月16日から 施行する。